

製品名: CLUS ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab09071**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,ELISA
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,ELISA 1:10000-1:20000
分子量	52kDa

抗原情報

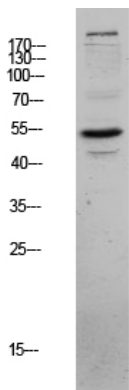
遺伝子名	CLU APOJ CLI KUB1 AAG4 Clusterin (Aging-associated gene 4 protein) (Apolipoprotein J) (Apo-J) (Complement cytolysis inhibitor) (CLI) (Complement-associated protein SP-40,40) (Ku70-binding protein 1)
別名	(NA1/NA2) (Testosterone-repressed prostate message 2) (TRPM-2) [Cleaved into: Clusterin beta chain (ApoJalpha) (Complement cytolysis inhibitor a chain); Clusterin alpha chain (ApoJbeta) (Complement cytolysis inhibitor b chain)]
遺伝子 ID	1191.0
SwissProt ID	P10909
免疫原	ヒト由来の合成ペプチド CLUS ポリクローナル

背景

この遺伝子によってコードされるタンパク質は分泌型シャペロンであり、特定のストレス条件下では細胞質にも存在する。細胞死、腫瘍の進行、神経変性疾患といったいくつかの基本的な生物学的イベントに関与することが示唆されている。選択的スプライシングにより、コーディングバリエーションとノンコーディングバリエーションの両方が生じる。[RefSeq 提供、2011年5月]機能: 未だ明らかになっていない。様々な組織で発現することが知られており、細胞、膜、疎水性タンパク質に結合できると考えられる。プログラム細胞死 (アポトーシス) との関連が示唆されている。類似性: クラステリンファミリーに属する。サブユニット: 逆平行ジスルフィド結合ヘテロ二量体。APOA1、CLUAP1、PON1 と相互作用する。

研究分野

画像データ



MCF-7 ライセートのウェスタンブロット分析、抗体は 1000 倍に希釈した。二次抗体は 1:20000 倍に希釈した。